



冬の訪れが間近に感じられるようになりました。法学類月報第 36 号では、山崎友也先生のエッセイ、就職活動体験記、語学研修に参加した学生のレポートをお届けします。



◆◆教員エッセイ◆◆

第 3 回 山崎友也先生（憲法）

◆批判する前に「理解」を

ドナルド・トランプが合衆国の次期大統領に決まり、各方面にショックを与えています。訳知り顔で、ヒラリー・クリントンの当選を予想していた「識者」たちは、「合衆国」を理解することがいかに難しいか思い知ったことでしょうか。かくいう私も改めて「理解」することの困難を感じます。というのも、最近、憲法専攻でない研究者の中に、憲法学説を正確に理解しないまま、安易に憲法を語る先生がいるからです。例えば、「世界正義」なる観念の楽園で遊ぶことに飽きたのか、下界に舞い戻り憲法研究者に罵詈雑言を浴びせている某法哲学研究者がその一人です（足立先生ではありません、念のため）。

この先生は、憲法研究者を、「絶対平和主義」に基づく 9 条を政治利用してきたとか、政府と同じく「解釈改憲」に手を貸してきたと非難し、そんな 9 条は削除してしまえと過激なことをおっしゃいます。しかし、どうもこの方は、憲法解釈が政治・社会上の実践的判断を常に伴うことを忘れているようです。そして、何より憲法学説の蓄積を誤解・無視したまま言いたい放題言っているのが気になります。ろくに勉強もしないで憲法について語りたがる政治家も困りものですが、研究者がこれではもったいけません。私たちは、こうした先生を反面教師とし、批判する前にまずは対象を「理解」することに没入してみるべきではないでしょうか。

「人」という決め手

就職活動を意識し始めると、まず職種や業界、企業を知ろうとします。手軽に調べられるのはやはり、ネットです。私も移動中や空き時間に、何度もスマホで検索していました。

企業やサイトにもよるかもしれませんが、掲載されている情報は様々です。その情報だけを見て、その企業



について知った気になることもありました。

しかし実際、内定者の先輩に「今の内定先に決めた理由は何ですか」と聞いてみると、最も多い答えは「人」でした。就活を始めたばかりの自分には納得のいく回答ではないと感じていました。しかし結局、私が現在の内定先に決めた決め手もやはり「人」だったのです。これは、就職活動をしてみないと分からない感覚かもしれません。もっと言うと、決め手を「人」と言わしめる企業に出会わないと得られないものかもしれません。

残念ながら、「人」という部分は決め手に

なり得る要素なのにネットや紙面からはわかりません。ですので、時間や就活資金が限られているかもしれませんが、気になった企業や業界で働く人に直接会ってほしいと思います。たくさんの「人」に会うことで、より納得感と充実感を持って就職活動を終わられると思います。

体調には十分気を付けて、納得感を持てるように就職活動を頑張ってください！

法学類4年（大正製薬㈱に就職内定）

安川翔太郎



極東連邦大学(ウラジオストク)でのサマースクールを通して

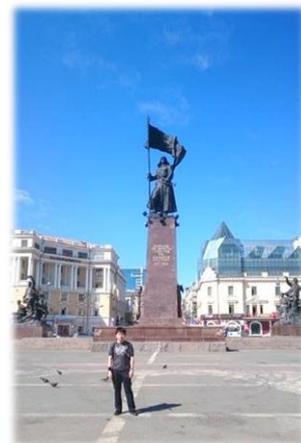
私は、この夏休みに極東連邦大学で開かれた3週間のサマースクールに参加してきました。極東連邦大学はロシア極東地域の中心的な総合大学であり、ウラジオストクにキャンパスがあります。ウラジオストクは日本から飛行機で約3時間で行ける都市ですが、1958年からソ連崩壊までの間、外国人の居住が許されない閉鎖都市でした。しかし、2016年現在はとても活気のある街であり、住み心地もよかったです。

今回の語学研修で最も印象に残ったことの一つは、他留学生との交流です。私にとって外国人と外国語で会話をするという体験は初めてのことでした。相手の言っていることが聞き取れないことも多く、曖昧な形で会話が終わってしまうこともあり苦い思いをしました。しかし、こんなに語学力の無い私を遊びに誘ってくれる留学生も多く、拙い英語でも黙っているよりは良いと思えるべく会話を続けられるよう心がけました。

また、街中でロシア人と会話をする機会も多々ありました。訪れる前はロシア人に対して「無愛想で無口」というステレオタイプのイメージを持っていましたが、実際は一度仲良くなるととても陽気で優しく接してくれる人たちが多かったです。

今まで自分の生活とかけ離れすぎていてイメージもあまりしにくかったロシアの雰囲気、生活、人々が、サマースクールを通じて鮮明に思い描けるようになった気がします。この経験をロシア語学習だけでなく自分の進路設計にも活かしていきたいです。

三村 侑意（法学類2年）



法学類HP
へGO!



- 法学類の学生、卒業生、教員に関するイベント等の情報を、ぜひお寄せください。
- 関係者の皆様のご寄稿を歓迎します。採用された方には、法学類グッズを進呈します。
- 本誌のバックナンバーは、金沢大学法学類 Web サイトに掲載していますのでご覧ください。<http://law.w3.kanazawa-u.ac.jp//category/brochure/geppo>
また、メールでの定期配信（無料）をご希望の方は、金沢大学人間社会系事務部 学生課 法・経済学務係 (n-hkgaku@adm.kanazawa-u.ac.jp)までお申し込みください。
- お読みになってのご意見ご感想は、上記メールアドレスまでお寄せください。